

## 今日のみことば

### □ 1月1日(日) ルカ 24章

天使は弟子たちにイエスがよみがえられたことを知らされました。二人の弟子には、ご自分が死なれた理由を説明されました。イエスは天に戻られる前に、特別な働きを与えられた。

### □ 1月2日(月) ヨハネ 1章

ヨハネはイエスが生まれる前のことから書き始める。イエスは永遠であって始めも終わりもない。イエスはすべてのものの造物主である。イエスは人として生まれた神ご自身である。

### □ 1月3日(火) ヨハネ 2章

イエスは数々の奇跡を行われた。礼拝者として宮に入られたイエスは、その聖なる場所が営利のために使用されていることに怒りを発し、彼らを追い出された。

### □ 1月4日(水) ヨハネ 3章

ニコデモを訪ねられたイエスは、神の家族の一員となるためには、もう一度新しく生まれなければならないと、彼に教えられた。

### □ 1月5日(木) ヨハネ 4章

自分を罪人だと認めているサマリヤの婦人に、イエスは、神の愛はすべての人に注がれていることをお教えになった。彼女はイエスが約束のキリストであることを知った。

### □ 1月6日(金) ヨハネ 5章

イエスは38年間の歩けなかった人をいやされた。ユダヤ人の指導者たちは、イエスがその業を安息日に行ったとして非難した。イエスはご自分について証しをされた。

### □ 1月7日(土) ヨハネ 6章

イエスの教えを聞くために、またいやしていただくために五千人以上の人が集まっていた。イエスは彼ら全部を、一人の少年の弁当を用いて養われた。

---

ろ ぼ No. 1796  
2017年 1月 1日  
日本バプテスト 立川キリスト教会  
牧師 大川 博之

---

エゼキエル36:26

わたしはお前たちに新しい心を与え、お前たちの中に新しい霊を置く。わたしはお前たちの体から石の心を取り除き、肉の心を与える

をお見せになりました。それは驚くべき光景でした。神はエゼキエルに「見よ。わたしはお前たちの中に霊を吹き込む。するとお前たちは生き返る。そしてお前たちはわたしが主であることを知るようになる」(エゼキエル37:1-9)と言われました。何という驚きに満ちた言葉を私たちは聞かせていただくのでしょうか。これが私たちの神であることを確認させていただき、この時代を生きるのです。

私はこの捕囚の民を、解放の民として下さり、希望と力を与えて下さった神であることを忘れません。思い出して下さい。私たちは土で創造されました。その人に神は鼻から息を吹き込

神はすべてのものの主であることを、しっかりと確認することは私たちの生活の第一歩です。イエスが「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる」(マタイ6:33)と言われた言葉を私たちは、心にとどめなければなりません。

私の心は、いつも生かされている世界が、平安であってほしいと願うことしきりです。今日の世界の状況はあまりにも不安に満ちています。そのようなこの世の世界のことが気になって生きる自分はどうのような信仰者なのか、と考えます。イスラエルの民が捕囚の生活の中で、故郷の悲惨を知らされ絶望の中にあつたとき、神はエゼキエルに、枯れた骨が生き返る姿

んで生きる者とされました。人が生きるのは、神の息によるのです。戯言もたいがい、と言われようとも私たちはこのことをしっかりと語っていくのです。新しい年を迎えて、神が私たちに「お前たちに新しい心を与え、お前たちの中に新しい霊を置く」と言われる言葉を聞かせていただきます。私は神様が行動を起こしてくれるとの期待を抱かせていただくのです。

私は、今日の人々の心がどのような状態であるか、読み違えなどないであろうと思われるほどに覇権主義です。紛れもなくどのようにしたら他者のものを、自分のものにすることが出来るかと必死です。そこには神様の言葉など入る余地はまったく見いだすことは困難になっているかに見えます。しかしこのような状況を、神様は決してられるこ見過ごしにされるお方ではありません。エゼキエルはイスラエルの民に「神はあなた方を内側から新しくして下さる」と語りました。神は今もそのような働いてお出でになるお方であることを信じています。

そこにある神の求めは何か、と問われるなら、何もありません。そこにはただただすべてを与え尽くされる神が浮かび上がるだけです。ただ神の御名をほめたたえるだけです。み言葉に生きるだけです。「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛すること」「隣人を自分のように愛すること」と通して私たちは応えるのです。そこに私は新しくされた「私」を見させていただくのです。

————— 《 聖書の学び・祈祷会 》 —————  
ピリピ4:6-8 思い煩いはやめなさい

私たちは祈りの答えをいつも神様からいただくことが出来ていますか。神様は思うほどに答えては下さいません。イエスは「あなたがたのだれが、パンを欲しがると自分の子供に、石を与えるだろうか。魚を欲しがると、蛇を与えるだろうか。このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして、あなたがたの天の父は、求める者に良い物をくださるにちがいない。だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者である。」(マテ7:8-12)と言われました。

私たちの祈りは、神様にご存じです。願うことは願いつつづけるだけです。イエスは幾度も同じことを語って下さいましたそれが基本だと言えます。新しい年の祝福を求め続けて歩み始めさせていただきます。



Read God's Word.